

羽生田だより

すべての人にやさしい **医療** を **介護** を



令和6年9月発行

38号

羽生田たかし国会事務所
〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
TEL:03-6550-0319 FAX:03-6551-0319

羽生田たかし群馬事務所
〒371-0022
群馬県前橋市千代田町2-10-13
TEL:027-289-8680 FAX:027-289-8681



佐賀県医師会 会長
志田 正典



参議院議員
自民党厚生労働部会長代理
羽生田 俊



参議院議員
自民党政務政策審議会 会長
福岡 資麿

羽生田 今回は、厚生労働のエキスパートであり現在、参議院自民党政務会長であります福岡資麿参議院議員と、その地元佐賀県医師会の志田正典会長と鼎談の機会を得ました。

福岡資麿先生は参議院自民党政務政策審議会会長・参議院厚生労働委員会筆頭理事をされており、どちらも私の上司に当たり、自民党厚生労働部会長や自民党社会保障制度調査会幹事長代理などを歴任され、厚生労働分野においても私達の大変心強い味方であり、現在51歳という若きエースであるにも関わらず参議院3期・衆議院1期という経歴で今後も大変大きな期待をされる逸材であります。

また志田正典会長は平成22年以降、佐賀県医師会の常任理事・専務理事・副会長を歴任され満を持して先般の代議員会で松永啓介先

生の後任として会長職に就かれました、14年にわたり医師会役員として地域医療に携わっておられました。

佐賀という地域独特の取組などあられると思いますが、地域の医療の置かれた現実など忌憚なき意見交換ができればと思います。

福岡政務会長 私は佐賀市川副町(旧佐賀郡)で生まれ、県立佐賀西高校までずっと佐賀で育ちました。

ひたすら剣道に打ち込む青年時代でありました。平成17年に衆議院議員として、そして平成22年に参議院議員として国政へ送っていただき現在3期目を務めています。

当選以来、医師会をはじめとする多くの医療関係の方々に支えられ、厚労行政、厚労政策に懸命に関わって参りましたし、国民医療を守る議員の会では幹



事長を務めています。

自身の政策(約束)と経歴致しました。地方で暮らす、地域で生きてゆく為には医療はなくてはならないものであり、安心安全に暮らすべく大切な医療資源を守ってゆかねばならないと強く感じました。

普段から医師会の先生方とは連携を取らせていただいておりますが、今日改めてこういった形で地域医療を考えた機会を得たことを大変有り難く感じています。

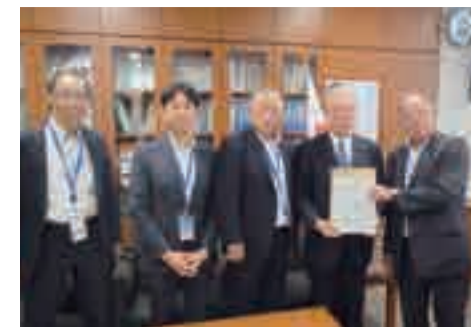
新型コロナウイルスが浮き彫りにした 医療の課題と地域の責任



学校検診に関する意見交換



執行委員会にて挨拶



国道50号前橋傘懸道路促進要望



情報監視審査会として議長へ報告



室蘭市医師会にて



網走医師会にて



函館市医師会にて



日高医師会にて



留萌医師会にて



千歳医師会にて



苫小牧市医師会にて



帯広市医師会にて



江別医師会にて



根室市外三郡医師会にて



十勝医師会にて



釧路市医師会にて



宗谷医師会にて



渡島医師会にて



北見医師会にて



三笠市医師会にて



夕張市医師会にて



美幌医師会にて



胆振西部医師会にて



札幌市医師会にて

【羽生田たかし国会事務所】
〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
TEL:03-6550-0319
FAX:03-6551-0319

【羽生田たかし群馬事務所】
〒371-0022
群馬県前橋市千代田町2-10-13
TEL:027-289-8680
FAX:027-289-8681

羽生田たかし公式サイト▶
<https://www.hanyuda-t.jp/>
Facebook▶ 羽生田たかし 検索
Twitter▶ 公式アカウント▶ @hanyuda_takashi
メール▶ mail@takashi-hanyuda.com

WEB通信配信
アドレス登録は
こちらから



公式サイト



志田会長 力強いお言葉をありがとうございます。私達医療者は本当に危機を感じています。地域医療を支えているのは、自分たちこの地域で医療を続けて行けるのだろうか。コロナ禍においても、懸命に家庭を犠牲にし

て、多くの医療者が献身的に医療を地域を支えました。コロナが去ってゆくと、地域医療を守ることに繋がるとの思いで、これからの医療政策に取り組みたいです。いまや削減や抑制は当たり前になり、次は何を差し出すのかといった不安な状態です。財源が無限でない事は十分承知していますが、しかしながら、過不足無い医療提供は、必要最低限ではないでしょうか。昭和55年に医学部を卒業し、地域医療に携わって随分長くなりました。

た。医師の良き時代も多少は経験したかと思いますが、県医師会役員としての14年は叩かれ続ける医療に接してきました。いま会長となり、地域医療を守ることの難しさを痛感しております。この思い、是非、国に届けて頂きたいと思っております。人口減少が叫ばれるなか、地域では特に顕著な高齢化と若者の大都市への流出が進み、医療人材を確保することがいかに困難であるか、そして医療サービ

スやアクセスが低下すれば、そのリスクは患者へと向かいます。本場に地域医療を支えてゆく事の厳しさを感じています。

福岡政審会長 志田会長、そして羽生田先生とこのような意見交換ができて良かったと感じています。これから予算要望として、骨太にあった「経済・財政新生計画」策定にむけて、これから様々な議論がされて行くと思います。私も生まれ育ったこの地域をどう守るか、そしてこの地域で生きてゆく人をどう支えて行く



福岡政審会長 まさにご指摘の通りかと思っております。今回も財政制度など審議会において「歳出目安」に基づく改革を継続する方向が示されています。これ以上財源が枯渇すれば医療の質のみならず、先程志田会長がおっしゃられた医療人材の確保にも多大な影響が及ぶと考えます。

人口減少が進む地方において医療人材の確保は並々ならぬ課題であり、その給与の原資は診療報酬による収入に限られているからです。また医師の働き方改革も施行され、マンパワーで支えて来た部分が大きく揺らぐ事となります。

あわせて第8次医療計画、第9期介護保険事業計画の実効性さらには医療DXと大きな変革の真只中にある現在であります。世間



は通常と化してしまつたコロナ対応についても佐賀は全国でも上位の感染拡大が先般まで続いていたりと、地域だけで解決出来るのか分からない部分も多々あると感じています。地域を語る上でより良くしていく事を念頭に話をしますが、こと医療においては現状を維持することもままならない状態であることは大変厳しいことであり

りと思っております。地域の患者を守ることに、そして医療提供者を支えてゆく事が地域医療を守ることに繋がるとの思いで、これからの医療政策に取り組みたいです。いま会長となり、地域医療を守ることの難しさを痛感しております。この思い、是非、国に届けて頂きたいと思っております。人口減少が叫ばれるなか、地域では特に顕著な高齢化と若者の大都市への流出が進み、医療人材を確保することがいかに困難であるか、そして医療サービ

力も兼ね備えた福岡資慶先生に大いなる期待と活躍にエールを送ると共に、私の初陣の選挙から懸命に支えて頂いた佐賀県医師会を担う志田正典新会長に感謝と敬意を表します。

本日のお話もしつかりと胸に故郷の佐賀県をそして日本を守ってゆける議論をして参りたいと思えます。

羽生田 大変貴重な意見交換ができたことに感謝申し上げます。まだまだ若い、しかし

地域医療の継続と改革に向けた新たな挑戦

福岡政審会長 まさにご指摘の通りかと思っております。今回も財政制度など審議会において「歳出目安」に基づく改革を継続する方向が示されています。これ以上財源が枯渇すれば医療の質のみならず、先程志田会長がおっしゃられた医療人材の確保にも多大な影響が及ぶと考えます。

人口減少が進む地方において医療人材の確保は並々ならぬ課題であり、その給与の原資は診療報酬による収入に限られているからです。また医師の働き方改革も施行され、マンパワーで支えて来た部分が大きく揺らぐ事となります。

あわせて第8次医療計画、第9期介護保険事業計画の実効性さらには医療DXと大きな変革の真只中にある現在であります。世間

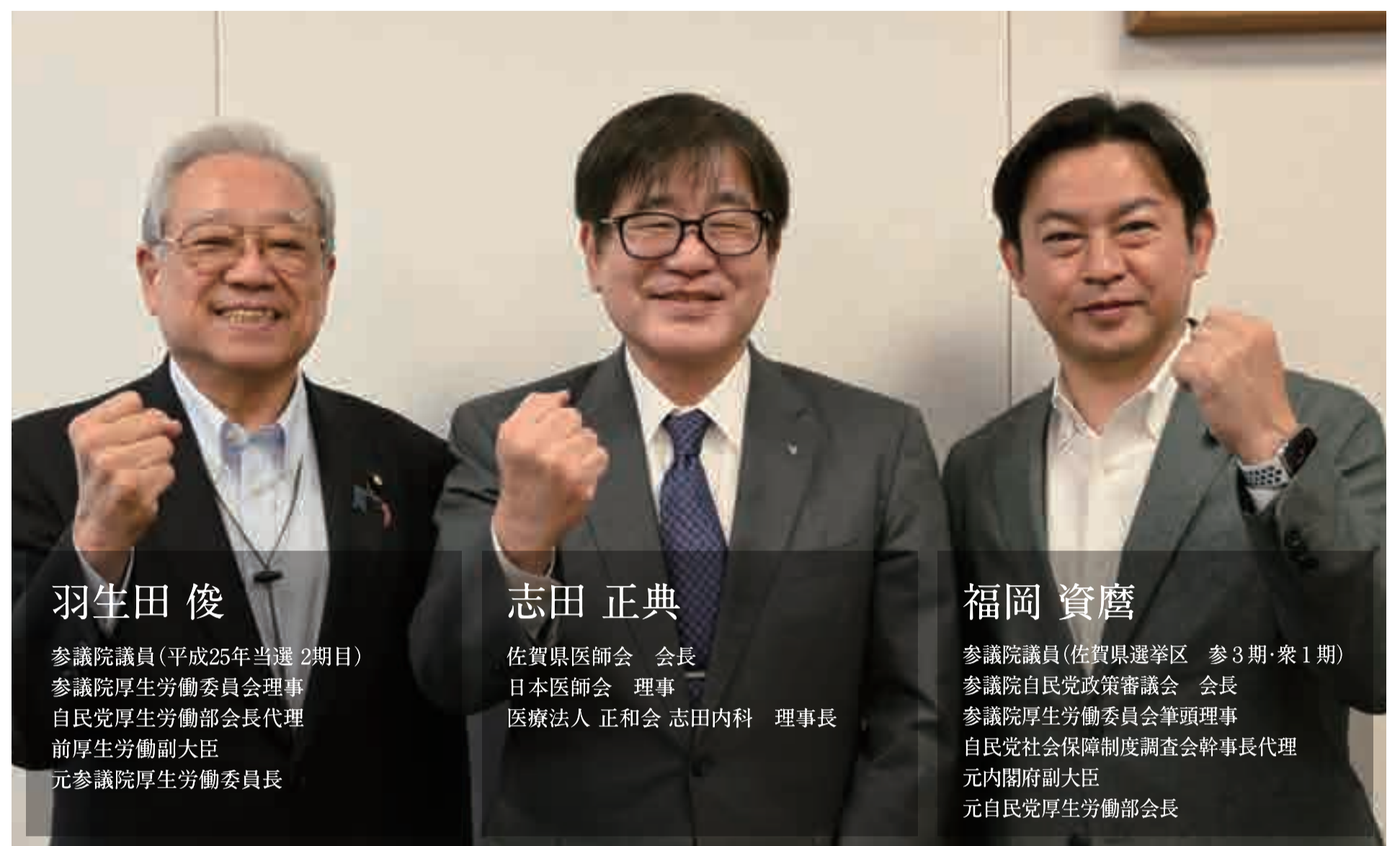
は通常と化してしまつたコロナ対応についても佐賀は全国でも上位の感染拡大が先般まで続いていたりと、地域だけで解決出来るのか分からない部分も多々あると感じています。地域を語る上でより良くしていく事を念頭に話をしますが、こと医療においては現状を維持することもままならない状態であることは大変厳しいことであり

りと思っております。地域の患者を守ることに、そして医療提供者を支えてゆく事が地域医療を守ることに繋がるとの思いで、これからの医療政策に取り組みたいです。いま会長となり、地域医療を守ることの難しさを痛感しております。この思い、是非、国に届けて頂きたいと思っております。人口減少が叫ばれるなか、地域では特に顕著な高齢化と若者の大都市への流出が進み、医療人材を確保することがいかに困難であるか、そして医療サービ

力も兼ね備えた福岡資慶先生に大いなる期待と活躍にエールを送ると共に、私の初陣の選挙から懸命に支えて頂いた佐賀県医師会を担う志田正典新会長に感謝と敬意を表します。

本日のお話もしつかりと胸に故郷の佐賀県をそして日本を守ってゆける議論をして参りたいと思えます。

羽生田 大変貴重な意見交換ができたことに感謝申し上げます。まだまだ若い、しかし



羽生田 俊
参議院議員(平成25年当選 2期目)
参議院厚生労働委員会理事
自民党厚生労働部会長代理
前厚生労働副大臣
元参議院厚生労働委員長

志田 正典
佐賀県医師会 会長
日本医師会 理事
医療法人 正和会 志田内科 理事長

福岡 資慶
参議院議員(佐賀県選挙区 参3期・衆1期)
参議院自民党政策審議会 会長
参議院厚生労働委員会筆頭理事
自民党社会保障制度調査会幹事長代理
元内閣府副大臣
元自民党厚生労働部会長

志田会長 羽生田先生からお話があったように、私は県医師会役員に就任して14年になりますが、会長という重責を担う立場となり、さらに一段、心身を引締め、公務にあたっております。会長に就任し、「情報発信の強化」と「基幹病院を含めた県内医療機関の連携強化」の2つを重点項目に掲げ、走り出したところですが、性格上、愚直に真っ直ぐに向かい合い、一つ一つ懸命に取り組んでいきたいと考えております。

福岡先生も話されましたように、コロナを受けて、医療においても様々な問題点が浮き彫りになりました。特に「情報」においては正確性とスピードが求められましたが、コロナ禍においての正確な情報伝達というものは大変な苦労があり、感染情報の正確な把握、治療体制の状況、医療物資などの在庫

の確保など、感染状況を含めてどれだけ正確な情報を掴むことが難しいのかを感じました。そのような中で、県医師会からの正確な情報発信の重要性、また治療体制の構築において、医療機関同士の連携強化の重要性を強く感じ、今回の重点項目にも掲げた次第です。私は佐賀市医師会の理事を務めていた2013年に、市内4つの基幹病院と佐賀市医師会会員の交流会を企画し、医療機関同士の顔の見える関係の構築を図って来ました。この交流会は今も佐賀市医師会に引き継いで頂いております。今後は県内全域で、このような交流の場を設け、さらに地域内での連携を深めていきたいと考えております。

災害時、非常時の連携はもとより、平素からの病病・病診・診診連携は、地域で暮らす人にとって大きな安心に繋がると共に、今後大きな問題となるであろう人材確保においても、良い方向につなが



ればと考えております。

羽生田 福岡先生は、現在参議院自民党の政審会長として政策のとりまとめをされていること、私も政審副会長として一端を担っているつもりでありまして、また参議院厚生労働委員会においては福岡先生が筆頭理事、私が理事として、法案審議・成立の為こちらも一緒に汗をかかせていただいております。

佐賀県医師会の先生方が平素から昵懇のお

医療における正確な情報発信と連携の深化

私は親身ほど歳が離れているにも関わらずその優れた手腕と能力にうらやましさと共に感心をしているところでもあります。

厚労政策にも大変ご尽力いただいております。先般の報酬改定などにおいても、しっかりとご意見・ご指導を賜りながら共に政府への要望を請うるべく、望ましく行っております。

佐賀県医師会の先生方が平素から昵懇のお

付き合いを頂いているということ、地域医療においても実態をご存じかと思いますが、私が日本医師会で役員をしている頃から、地域医療において様々な問題がありましたが、経済が上向きであったこともあり財政的に危機的状況ではなかったのが、カバール乗り越える事が出来ていました。しかしながら今は財務省が医療費抑制・削減政策に徹し地域医療は崖から転落しかけています。このままでは医療の質も低下しかねないと感じています。